

令和2年度 第5回深谷市地域公共交通会議 議事録

開催日時：令和3年2月3日（水）14時00分 ～ 15時00分

開催場所：深谷市役所 3階 大会議室AB

出席者：別紙出席者名簿参照

傍聴人：なし

議事次第：別紙参照

配布資料：別紙参照

1. 開 会

2. あいさつ

- ◆会長よりあいさつ

3. 協議事項

(1) デマンドバス再編計画策定について

◆事務局より資料1について、現状の課題、検討案について、受託会社から説明がある旨話す。

- ◆本業務の受託会社より資料1の説明

- ◆質疑

【委員】

- ・再編パターンの比較概要の説明があつたが、Aエリアの見直しとC利用者の見直しを組み合わせることもできるか。

【受託会社】

- ・現在エリアの見直しが、最優先であると定めているが、それに伴いCの利用者の制限というところも大きな項目の1つであると認識しているので、これらを組み合わせた形で再編していこうと考えている。

【委員】

- ・C利用対象者の制限をし、深谷市民のみの利用としていくという案が1つだけか。例えば市外の人が利用する際、市民が200円のところ、市外の人を300円という検討はしなかったのか。

【事務局】

- ・料金体系につきましては、まだ詳細までは、詰めていない。今回は方向性を決めるため、エリアの見直しと利用者の制限を設ける案となっ

てなっている。市外のかたに制限を設けるが、その中でも一定条件を満たした人が利用できるようにする。例えば、市内の通勤、通学というところをどうするかなど、この次のステップで判断していきたい。今の時点では、エリアを大きく分けたA, B, C, Dの4パターンからA, Cの詳細を詰めていくということで承認をいただきたい。

【委員】

- ・エリアの見直しAで条件等の中に、3地域区分の変更とあるが、深谷日赤病院への輸送は、どのエリアからでもという意味か。例えば岡部から直接、深谷日赤へ移動できるようにするという事か。

【事務局】

- ・3エリアは、旧行政界をイメージしたと思うが、今回の再編では、その概念を取り払い、利用の多い地区から地区へということで、深谷日赤病院への希望が多い地区であることからトータルし、どこでエリア分けするのか、旧行政界の概念を取り払い、国道17号とか新幹線というように、地域の土地に合わせたエリア分けを考案していきたい。3地区というのは、イメージした地区で、どこでというのは、これから詳細を詰めていく。

【委員】

- ・Aのメリットで、3エリアを5台で運行することで、流動性を高めると思うが、3エリアを5台すべて路線を登録するという事か。

【事務局】

- ・デマンドバスは、深谷地区全域ということで、路線運行とは異なる。エリアというのも基本的には、これを運用することで、現在は、5エリアに分けている。工夫して運用上のリニューアルをしていく。台数、エリアは持続可能な公共交通ということで、運行経費が今まで以上にならないように考案していく。

【委員】

- ・調査の確認だが、35ページの棒グラフは、100%と考えるのか。計算すると100%を超える。

【受託会社】

- ・比較棒グラフは、複数回答となっているため、お一人のかたが2問以上回答するもととなっている。そのため、回答者数で割ると100%を超えてしまうということである。帯グラフは、それぞれ100%になるように記載している。

【委員】

- ・再編パターン比較概要表の検討パターンDの車両の変更だが、定員を8人から4人とし、車両台数は5台となっている。Cのメリットに、「利用したいが予約が取れない」という意見がある。定員が減ってしまうことで一層予約が取れなくなるではないか。

【事務局】

- ・小型車両の検討とあるが、8人から4人と記載している。運行経費を計算した時の比較表となっている。現状の運行からしても利用者のニーズが、深谷地区全域と広く平たんである。合併してから集約もまだできていない。いろいろなところに病院等の拠点があり、移動ニーズが分散している状況。車両の人数を減らすというのは、現在の乗合率が、1.02人と非常に少ないことから、これに合わせ小型でいいのではないかと比較検討の1案となる。Dパターンの採用が採用されないというのは、まだ早い時期ということでA、Cを合わせたパターンにしていこうという提案にした。

【会長】

- ・デマンドバス再編計画策定について、原案どおりでよいか。

【委員一同】

- ・異議なし。

(2) 令和2年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について

◆事務局より資料2の説明

■意見

【委員】

- ・別添1とポンチ絵の数値と表現に違いがある。

【事務局】

- ・数値等を修正し、修正後の資料を各委員宛てに後日郵送する。

【会長】

- ・令和2年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について、数値等の修正があったが、原案通りで国に提出してよいか。

【委員一同】

- ・異議なし。

4. 報告事項

(1) 深谷市コミュニティバス各車両の呼称について

◆事務局より資料3の説明

- ・大河ドラマ館が、2月16日からオープンする。コミュニティバス「くるリン」も愛着をもっていただこうと、呼称を考案したことを説明。

◆質疑

【委員】

- ・「ハナミズキ号」は、「はなみずき」という施設があるが、かぶっても問題はないか。

【事務局】

- ・上柴地区を走る東部シャトル便を「ハナミズキ号」とした理由は、フリーモント通りに、はなみずきが植栽されているということで、特に施設名とは関係ない。コミュニティバスは、東部シャトル便が大元にあり、バスの呼称としているので問題ない。

(2) コミュニティバスイベントの進捗について

◆事務局より資料4の説明

◆質疑

特になし

5. その他

(1) 深谷観光バス株式会社より渋沢栄一論語の里循環バス、運行ダイヤと路線図の資料提供があり、その資料について説明

◆意見

【委員】

- ・埼玉工業大学の自動運転の時刻がないが、今運行しているダイヤと鉢合わせないようにお願いしたい。また、埼玉新聞に載ってから問い合わせが来ている。新聞に掲載された内容は、答えるが、詳しい内容は、深谷観光バスさんへ問い合わせをするよう伝える。

6. 閉 会